

令和4年度進行管理・評価シート
湯前町 歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）
（最終変更 平成31年3月5日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 事業推進のための体制整備等	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画と景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物の維持保全に関する事業	3
2 伝統を反映した人々の活動に関する事業	7
3 まちなみと景観形成に関する事業	8
4 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業	10
5 歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況		17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 報道の状況	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 その他(効果等)	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	湯前町-1
-------------------------	-------	-------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
<input type="checkbox"/> 事業推進のための体制整備 <input type="checkbox"/> 歴史的風致維持向上協議会の開催 <input type="checkbox"/> 関係団体等との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
○ まちづくり関連課と文化財関連課が担当し、各事業担当課と庁内の横断的な連携を図りつつ本計画の総合的かつ効果的な進捗を図る計画に記載している内容 ○ 湯前町歴史的風致維持向上協議会は計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議を行うとともに、湯前町文化財保護委員会等とも協議を行い計画を推進していく。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 関係各課及び町政推進プロジェクトチーム(歴史まちづくり)での協議と併せ、計画内容の進行状況確認や関連事業の協議・調整を随時行った。 ○ 湯前町歴史的風致維持向上協議会において、計画内容の進行状況確認、街なみ環境整備事業計画等の個別事業の検討を実施した。(計2回実施) ○ 令和5年1月に開催された第3回九州歴史まちづくりサミットin宗像に参加し、湯前町の取組を発表するとともに、九州内の他の歴まち認定都市との情報交換を行った。湯前町からの出席者5人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き、庁内関係課の連携体制を確立し協議会等との連携を推進する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 歴史まちづくりの実施体制</p> <pre> graph LR subgraph TownOffice [湯前町] subgraph EducationCommittee [湯前町教育委員会] EC[事務局] end subgraph PT [湯前町町政推進 PT] PT[歴史まちづくり] end subgraph InTownDepartments [庁内関係課] ED[企画観光課・教育課] AR[農林振興課・建設水道課] end end EC -- 報告 --> CHPC[湯前町文化財保護委員会] CHPC -- 意見 --> EC PT -- 報告 --> HMA[湯前町歴史的風致維持向上協議会] HMA -- 協議 --> PT HMA -- 意見 --> PSC[湯前町人口ビジョン総合戦略策定委員会 ※] PSC -- 意見 --> HMA CHPC --- 連携 HMA HMA --- 連携 PSC </pre>			
<p>■ 湯前町歴史的風致維持向上協議会の開催(令和4年度分)</p> <p>【6/30～7/15 通常総会書面決議】</p> <p>【12/10 第2回協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下里御大師堂修理事業について ・下町橋補修事業について ・歴史的風致形成建造物の指定について ・第3回九州歴史まちづくりサミットin宗像の参加について 			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
<input type="radio"/> 都市計画 <input type="radio"/> 景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

○ 本町は都市計画区域を指定しておらず、今後は住民等へのまちづくりへの普及・啓発を図りながら、地域の実情に応じた土地利用の規制導入に関する検討を行い歴史・文化を活かしたまちづくりの推進を図っていく。

○ 本町は全域が熊本県景観計画区域に含まれ規制区域となっており、重点区域内では、国道219号の沿線が特定施設届出地区となっている。また、国道219号及び388号の沿線が、熊本県屋外広告物条例の第3種禁止区域となっている。本計画期間内に景観行政団体への移行と景観計画の策定に向けた検討を行っていくこととし、屋外広告物に係る条例等も併せて検討を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 景観行政団体への移行 ……移行予定
- 景観計画の策定 ……策定予定
- 屋外広告物に係る条例等の制定 ……制定予定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和元年度の庁内課長会議において、令和8年度までの景観行政団体移行及び景観計画策定の方針決定をしている。熊本県と実務者協議を行い、広域での景観基本方針策定を県で実施し、域内町村で景観行政推進に取り組むこととしている。

状況を示す写真や資料等

令和2年7月豪雨により町内各所で山腹崩壊や土砂流出等の災害が発生したが、応急措置により道路交通は復旧している。歴史的風致形成建造物に大きな被害はなかったが、重点区域内に位置するくまがわ鉄道は、沿線の災害により未だ一部区間不通となっている。

令和4年度においても引き続き道路河川・治山林道等の本格的な災害復旧事業が進められ重点区域の景観も復旧が進んでいる。



重点区域と規制区域図



重点区域内の災害状況(河川)



災害復旧状況(河川)



重点区域内の災害状況(道路)



災害復旧状況(道路)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ① 明導寺阿弥陀堂屋根及び九重石塔修繕事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和元年度			
支援事業名 町単独事業			
計画に記載している内容 明導寺阿弥陀堂は平成21年度に茅葺き屋根の修繕を行ったが、近年の気象変動や茅素材そのものの性質変化、樹木等の周辺環境の影響で、部分劣化が著しく進行していることから、修繕を行う。また、熊本地震で損壊した九重石塔も修繕と耐震対策の検討を実施する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 明導寺阿弥陀堂の適切な保存・・・茅葺き屋根の修繕及び周辺樹木の管理について庁内及び文化財保護委員会、法定協議会で検討を行った。屋根に生えていたヤドリギや幼木を除去した。 ○ 明導寺(城泉寺)七重石塔の適切な保全・・・令和元年度に九重石塔と共に3D計測を行いデジタルアーカイブ化。 ○ 明導寺(城泉寺)九重石塔の適切な保全・・・令和元年度に平成28年熊本地震で損傷した石塔の修繕を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和4年度は文化庁文化財調査官の視察を受け、九重石塔の耐震対策について指導を受けた。今後、令和7年度に耐震対策と屋根修理を計画している。	
状況を示す写真や資料等			
			
明導寺阿弥陀堂			
			
敷地内の九重石塔ほか			

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ② 御大師堂修繕事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 御大師堂は県が指定する文化財であり茅葺き屋根の堂宇である。この茅葺き屋根は平成16年に地域住民の参画のもと修繕がなされているが、10年以上経過し全体的に劣化が進行しているため、歴史的風致形成建造物に指定し修繕を行う。また、隣接する休憩所の改築や公園施設など一体的な周辺整備に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 御大師堂の適切な保全・○ 御大師堂の周辺整備
令和元年度より街なみ環境整備事業を活用し、文化財建造物専門業者により大師堂保存修理工事に向けた基礎調査と設計業務を行った。併せて有識者を交えた保存修理協議を行い、全解体修復をする方針が決定した。また、地区対象に発掘調査と建物調査の現地説明を実施した。令和3年度は御大師堂保存修理工事に本体工事に着手し解体修理工事の見学会も開催した。また、令和3年度は堂内の木造弘法大師坐像の修理事業に、所有管理者の下里地区が熊本県補助事業等を活用して取り組みを始めた。令和4年度には引き続き工事を実施し、見学会等を3回開催した。また木造弘法大師坐像の修理が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物の保存修理事業においては、詳細な調査や多岐の検討を必要とし事業期間が計画時点より長期化している。下里御大師堂保存修理事業は令和4年度でおおむね完了したが、一部防災関係の工事が令和5年度まで続く見込みとなっている。また今後、周辺の公園整備を進めていく。



着工前の下里御大師堂



下里御大師堂保存修理工事の進捗状況(R4.10.20)



修理工事見学会の状況(R4.10.11)



修理を終えた木造弘法大師坐像の搬入(R5.3.23)

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ③ 湯前町歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき、指定を行った建造物において、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要と認められる改修等の支援を行う。また、住居等で耐震診断や耐震改修の必要な建造物は耐震対策も併せて支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 令和4年度末時点指定箇所数 2件(下里御大師堂・下町橋)
 ○ 下町橋補修事業は社会資本整備総合交付金を活用し、令和2年度に補修設計を実施し、令和4年度には施工業者との契約を締結した。
 また、第2回協議会において、宝陀寺観音堂、湯前駅舎等7件について、今後の歴史的風致形成建造物指定について協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 現時点では、下里御大師堂と下町橋の2件を歴史的風致形成建造物に指定し、修理等を実施しているが、それ以外の指定が進んでいない。文化財の指定・未指定に関わらず、歴史的建造物の修理の要望等も出ているので、今後、新たな指定を進め、保全整備に取り組んでいきたい。



専門家調査の状況(2019.1月)



下町橋(R5.3.2)



補修設計に伴う詳細調査写真

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ④ 幸野溝周辺環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 幸野溝は世界かんがい遺産の認定登録を受けており、今後とも適切な維持管理と地域用水の持つ多面的機能の維持増進、生活空間の質的向上等を図る必要がある。このことから、幸野溝の水路及び沿線道路の防草対策や植栽等を行うとともに、地域住民等一体となった維持・保全体制の構築を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 幸野溝施設の保全
 幸野溝施設の維持管理を適切に行いながら、世界かんがい遺産の研修として計129名を受け入れた。幸野溝の主目的である利水事業のため、幸野溝土地改良区が主体となり、受益者(農家等)と共に、清掃、点検、修理等の適切な維持管理を行った。また幸野溝隧道(旧貫)を歴史的風致形成建造物指定候補に追加した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界かんがい遺産の認定登録を契機として、幸野溝の活用協議会が設立され、幸野溝土地改良区を主体として研修受入に取り組んでいる。幸野溝疏水施設は適切に維持管理がなされている。
--	---



幸野溝(球磨川の旧取水堰)

幸野溝土地改良区の活用活動等実績(R4)

- 研修受入
 - ・一般 9団体 129名
- その他
 - ・4月11日・12日「世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto」が開催され、流域別現地検討会の球磨川コースに全国8県13名が参加し、湯前町で情報交換会や幸野溝の見学を実施した。



幸野溝



町内教職員研修での幸野溝旧隧道の見学

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目	評価対象年度 令和4年度 現在の状況	
(2) 伝統を反映した人々の活動に関する事業 ⑤ 無形民俗文化財保存継承事業 ⑥ 地域伝統芸能等保存活用事業 ⑦ 郷土学習総合推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 歴史的風致維持向上計画認定前～令和8年度		
支援事業名 町単独事業		
計画に記載している内容 ⑤ 太鼓踊りや棒踊りなどの無形民俗文化財の保存活動に取り組んでいる保存会等の活動を支援することで、長い歴史の中で保存継承されてきた遺産を後世に伝えるとともに、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛を育んでいく。 ⑥ 存続活動が低下し滅失が危惧される、記録の少ない無形の民俗文化財等(祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、伝統技能、習俗等)を映像等に記録・保存し、地域の歴史文化の伝承と情報発信を推進する。 ⑦ 「歴史探訪講座」や小中学生の町内探検、民俗芸能学習授業など、生涯学習や総合学習等において、広く住民に郷土の歴史・文化・芸能等に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、住民の郷土に対する関心を深める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○ 東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽の各保存会へ湯前町地域文化財振興補助金の交付を行った。 ○ 令和3年度に引き続き浅鹿野棒踊りの記録保存事業を実施し、囃子の演奏の手本動画を作成した。 ○ 東方組太鼓踊り保存会が第64回九州地区民俗芸能大会に映像出演し、里宮神社境内において撮影を行った。 ○ 湯前中学校において総合学習の一環として、東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽の伝統芸能継承活動を実施し、文化祭や里宮神社の秋季大祭で披露した。 ○ 生涯学習の一環として歴史探訪講座(奥球磨セミナー)を近隣町村と合同で開催し、内1回は町内の下里御大師堂修理工事の見学会を実施した。参加者約20人		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	浅鹿野棒踊りの保存記録事業を引き続き実施する。	
状況を示す写真や資料等		
1 団体補助金の実績 (1) 無形民俗文化財保存継承補助金 3団体 220千円(東方組太鼓踊り保存会・浅鹿野棒踊り保存会・球磨神楽保存会)		
2 記録映像のアクセス数 (1) 町ホームページ伝統芸能ページのアクセス数 H30年度中 1,555件→R1年度中 2,267件 令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、アクセス数のカウントができなくなった。		
3 歴史文化に関する総合学習、特別授業、中学校の伝承活動等の実績 (1) 生涯学習歴史探訪講座 2回(H29・H30・R1・R3・R4) (2) 日本遺産講座 3回(H29・H30・R1) (3) 小学校総合学習(文化財) 2回(H29) 3回(H30) 1回(R1) 1回(R4) (4) 中学生への地域伝統芸能の継承活動 15回(H29・H30・R1・R3・R4) (5) 中学生による地域伝統芸能の披露 2回(H29・H30・R1・R3・R4) (6) 奥球磨セミナー 3回(H30・R1)(奥球磨の文化財、建造物、相良33観音めぐりに関するセミナー)		
		
湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 東方組太鼓踊り	湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 浅鹿野棒踊り	湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 球磨神楽
湯前中学校伝統芸能継承活動紹介HP https://jh.higo.ed.jp/yunomae/album		

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目	評価対象年度 令和4年度 現在の状況	
(3) まちなみと景観形成に関する事業 ⑧ 明導寺阿弥陀堂等周辺整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和8年度		
支援事業名 町単独事業		
計画に記載している内容	明導寺阿弥陀堂周辺は、八勝寺阿弥陀堂や宝陀寺観音堂といった歴史的建造物が集積しており、観光客等も増加している。近年は、観光バスでの来場者が増加しており、現在未舗装となっている駐車場やトイレ等の周辺施設の整備や、周辺竹林の適切な管理、歴史的建造物を結ぶ参道の整備など総合的な周辺整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<input type="checkbox"/> 明導寺阿弥陀堂の周辺整備 <input type="checkbox"/> 八勝寺阿弥陀堂の周辺整備 <input type="checkbox"/> 宝陀寺観音堂の周辺整備	法定協議会、湯前町文化財保護委員会等において、宝陀寺観音堂等の歴史的風致形成建造物指定について協議を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	旧東方村周辺の明導寺阿弥陀堂等の維持管理については、堂宇等建物や周辺の清掃など地域住民が主体となって取り組みをしている。宝陀寺観音堂の参道施設の老朽化といった課題もあり地域住民の高齢化や担い手減少も踏まえ、今後も地域住民等を交え引き続き検討を進める。	
状況を示す写真や資料等		
		
八勝寺阿弥陀堂周辺	馬場稲荷社周辺	宝陀寺観音堂周辺
		
宝陀寺観音堂の参道	宝陀寺観音堂の参道	宝陀寺観音堂 敷地内の墓地

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
(3) まちなみと景観形成に関する事業 ⑨ 里宮通り他道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町中心部から市房山神宮里宮神社へ向かう、里宮通り、桜町通り等の道路は、観光列車の運行開始等も相まって、町外からの町歩き観光客等が増加しており、歴史的なまちなみを形成していくため道路美装化に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 道路空間を活用した住環境の整備
 ○ 住民満足度と歴史的建造物へのアクセス向上
 平成30年度は街なみ環境整備事業計画策定の中で、事業対象路線沿道の建造物・景観・通行量調査等、地域住民等のワークショップ等を経て道路美装化事業構想を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路美装化は事業費が大きく、複数年度にわたり事業を行うため、他事業との調整や財源確保が課題となる。



中心市街地概要図



里宮通りイメージパース



桜町通りイメージパース



駅前通りイメージパース

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑩ 湯前まんが美術館改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和6年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	湯前まんが美術館は、本町の歴史文化を総合的に発信していく施設であり、文化財の収蔵も行い、美術館としての展示施設の機能も備えている。その機能や設備の拡充等を改修事業により進めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○ 湯前まんが美術館の改修及び周辺整備等 …… 美術館2階の改修を行った。 ○ 湯前まんが美術館等来場者数 …… 4,717人/年(H29)→9,434人/年(H30:対前年増4,717人)→3,084人/年(R1)586人/年(R2)コロナ影響による大幅減⇒712人/年(R3)⇒ 2,477人/年(R4)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	湯前まんが美術館の改修を含む改善センター等改修工事基本計画を平成29年度に策定したが、関係者団体との調整、事業財源の確保が課題となっている。	

状況を示す写真や資料等



基本計画の周辺整備イメージ図

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業
① 湯前町歴史文化情報発信推進事業

□実施済
■実施中
□未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)

計画に記載している内容 歴史的風致維持向上計画の公表や湯前町歴史文化基本構想の策定等と併せ、湯前町広報、ホームページ等で歴史まちづくりに関する情報を重点的に掲載していき、住民参加型のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用や、シンポジウムの開催等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 湯前町HPでの計画等公表 …「湯前町歴史的風致維持向上計画」「湯前町歴史文化基本構想」を公表
- ホームページでの歴史文化関連情報の公開等 … 令和4年度は10件
- 湯前町広報 … 令和4年度の関連記事数 8件
- シンポジウム等の開催 … 令和4年度は開催実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画どおり進捗している
■計画どおり進捗していない

平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定しているが、住民参加型の事業着手が未定となっており、区長会や観光案内人協会、生涯学習受講者等との合意形成を図り事業着手を行ってきたい。

状況を示す写真や資料等

発行月	記事タイトル	サブタイトル・主な内容	備考
7	保存修理工事でわかった下里御大師堂の新事実		下里御大師堂
8	みんなの願いが叶いますように	湯前駅周辺を七夕飾りで彩る	湯前駅舎
9	湯前町文化協会 ことしの夏も駅周辺を清掃	昔も今も利用客のために	湯前駅舎
11	尚綱大生が町内ぶらり観光	まちのPRに生かす	明導寺阿弥陀堂・里宮神社等
12	哄笑～今と未来をつなぐ架け橋～	湯前中学校文化祭	伝統芸能継承活動
12	みんなで線路をきれいに	くま川鉄道沿線除草作業	
12	宗派の壁を越えて協力	神社仏閣ワーキング会議開催	明導寺本堂
1	青年団だより	青年団文化祭で東方組太鼓踊りなど披露	東方組太鼓踊り
記事数計	8		



下里御大師堂修理工事 記事



湯前中学校文化祭(伝統芸能継承活動)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑫ 駅舎内湯前ギャラリー整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・地方創生拠点整備交付金・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的価値の高い湯前駅舎は、今後とも景観を壊さないように維持していくことが重要となっており、観光列車田園シンフォニーを利用した観光客等に、本町の歴史文化を知っていただくため、駅舎内部の壁を利用して、資料館的な機能を持たせ、明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂、伝統芸能など本町を代表する歴史文化遺産を展示する空間整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 湯前駅舎(国登録有形文化財)の保全と活用 …… 庁内検討段階
令和3年11月に湯前―肥後西村駅間での運転が再開し、湯前駅も高校生の通学等に利用されている。令和4年度には、駅舎での七夕飾りなどが行われ、レールウィングでイベントも開催されるなど、賑わいを取り戻しつつある。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
令和2年7月豪雨によりくま川鉄道に大きな被害があり、現在鉄道は一部区間の開通となっている。当面は鉄道運航再開に向けた事業が行われるが、今後も湯前駅舎の所有・管理団体であるくま川鉄道(株)との協議を行い歴史的資源の情報発信施設としての機能向上を図る。

状況を示す写真や資料等



くま川鉄道湯前駅本屋(駅舎入り口周辺)



くま川鉄道湯前駅本屋(駅舎内部)

みんなの願いが叶いますように

湯前駅周辺を七夕飾りで彩る

6月29日、湯前駅舎内とふれあい交流センター湯～とびあ周辺に七夕飾りが取り付けられました。駅前をにぎやかにしようとする湯前町商工会女性部が10年前からボランティアで飾りつけを開始。会員が自宅で作成した布飾りや折り鶴が7月末まで飾られました。七夕飾りには、くま川鉄道の乗客などが願いごとを書いた短冊が数多くつけられていました。



湯前駅舎での七夕飾り(「広報湯前」8月号)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑬ 歴史文化利活用着地型観光事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂等の歴史文化遺産を観光資源として活用していくために、観光客の受け入れ先である本地域が、地域ならではの周遊プログラム等を企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光形態の推進を図るとともに、観光案内人をガイドとしてサービスを提供していく取り組みを構築する。本事業は、湯前町観光物産協会等を中心として関係事業との連携を図りながら推進を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

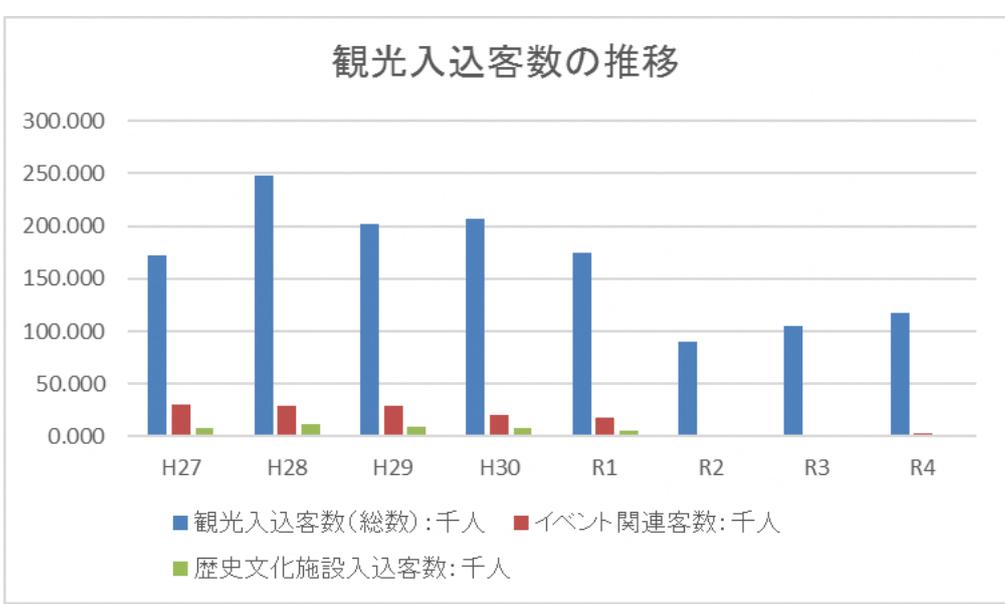
○ 観光入込客数(うち歴史文化関係施設の来場者数)
 175,194人(6,180人)(R1)→ 90,840人(-)(R2)→ 104,860人(R3)→ **117,275人(R4)**
 R3観光入込客数115,573人の内訳(日帰110,406人+宿泊5,167人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
 計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による落ち込みから、回復傾向見られた。今後もWithコロナを念頭に観光振興と情報発信に力を入れ、早期の回復を図る。観光案内人登録者数は対前年+1名の増であった。

状況を示す写真や資料等

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数(総数):千人	171.567	247.926	201.405	206.880	175.194	90.480	104.860	117.275
イベント関連客数:千人	30.007	29.697	28.628	20.135	18.026	0.000	未集計	3.000
歴史文化施設入込客数:千人	8.489	11.198	8.744	7.792	6.180	1.043	未集計	未集計



評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑭ 案内看板統一化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	---

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容
歴史的建造物等を案内する看板について、これまで各種事業等により整備を行ってきたが、経年劣化が進み、表記方法や意匠の統一感がないため、多言語表示化も含め、人吉球磨日本遺産活用協議会との連携を図りながら、統一感のある案内看板等の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度時点の案内板箇所数 …… 29箇所
- 令和4年度設置 …… 1箇所
- 案内看板統一化事業で設置した箇所数 …… 2箇所【内評価対象年度の箇所数0箇所】
- 多言語表示の案内板箇所数 …… 3箇所

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度は街なみ環境整備事業計画の策定過程で、重点区域内の主な案内板等の基礎調査を実施した。令和3度以降にサイン計画策定を予定していたが令和2年7月豪雨災害復旧事業の優先実施のため事業先送となっている。
--	---

状況を示す写真や資料等

重点区域内の国が指定する重要文化財及び歴史的風致形成建造物指定の候補と既設案内板等の位置図



令和4年度に新設した案内板

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑮ 湯前町観光案内人育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 観光案内人養成講座を開催し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むことと併せ組織化を図り、観光案内人の育成を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 観光案内人の組織 … 1団体 14名(10個人+4団体)
- 観光案内人の利用 … 0件(R4) 定時ツアー等の開催 0件 ※雨天のため定時ツアー2回が中止となった。
- 定例会等の実施 … 14回(R4) 定例会9回のほか、研修やAED講習を実施した。
また奥球磨広域連携推進協議会主催の奥球磨めぐりんフットパスに参加した。
- 情報発信 … 地域おこし協力隊員が文化財施設等の観光情報をSNSで積極的に発信している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

観光案内人の養成、質の高い案内が可能となるように個人のスキルアップが必要になる。
また、持続的な活動のための組織体制の強化が必要になる。

状況を示す写真や資料等



AED講習(R4.9.21)

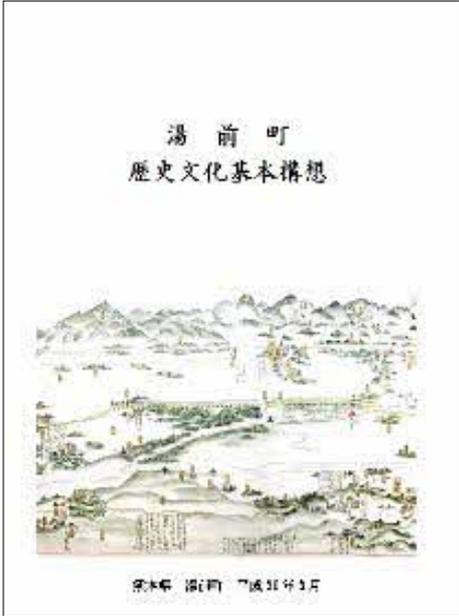
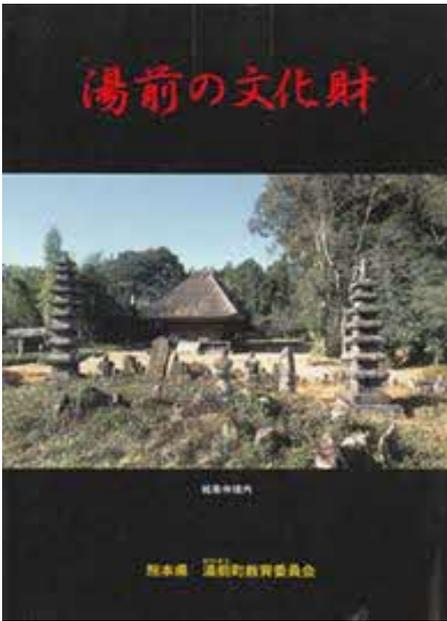


観光案内人による文化財の案内
(R4.9.29 尚綱大学フィールドワーク、潮神社にて)



奥球磨めぐりんフットパス(R5.2.12)



評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
(5) 歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業 ⑯ 湯前町歴史文化基本構想等策定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和2年度			
支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)			
計画に記載している内容	『湯前町の文化財』発行から10年以上が経過し、文化財全般にわたり、調査や台帳整備等が必要となっている。歴史文化基本構想の策定を中心として、歴史文化の振興とともに地域活性化を推進する。また、これらの情報はホームページ等での公開がこれまで行われていなかったため、情報発信を併せて推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 湯前町歴史文化基本構想の策定 …… 平成29年度策定済			
」		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定、平成30年度は『湯前町の文化財』を300冊増補し文化財に対する普及資料として活用したが、湯前町HPでの公表は当該冊子を有料販売してきた経緯があり実施に至っていない。今後は、HP公表に向けて教育委員会、文化財保護委員会で検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			
			
平成29年度策定 『湯前町歴史文化基本構想』		平成30年度改訂 『湯前の文化財』	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 指定又は未指定に関わらず、本町に残された文化財を確実に後世に伝えていくためには、文化財の保存だけでなく周辺環境や組織を含めた一体的な保存・管理・活用の運営を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財保護委員会の開催 … 3回/年
- 文化財管理人の設置 … 3箇所・3名
- 文化財施設の管理 … 3箇所(委託)
- 文化財の指定状況 … 令和4年度中の新規指定・解除はなし
- 文化財の防災・防犯 … 文化財防火デー(防災訓練)の実施 1件

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和4年度には、文化財未指の寺社等の修理の相談が数件あり、文化財保護委員会で協議を行った。令和5年度に、湯前町文化財振興補助金交付要項を改正し、補助の対象に未指定の建造物を追加し、支援を行う予定である。

状況を示す写真や資料等

- 1 湯前町文化財保護委員会の開催状況(令和4年度)
 - 第1回文化財保護委員会(R4.5.26)
 - 文化財/パトロール
 - ・下里御大師堂修理事業について
 - ・下町橋補修事業について
 - ・七ツ山観音堂の文化財指定要望について
 - 第2回文化財保護委員会(R4.10.28)
 - 文化財/パトロール
 - ・下里御大師堂保存修理事業について
 - ・下町橋補修事業について
 - ・浅鹿野薬師堂・八幡神社の文化財指定要望について
 - ・未指定文化財について
 - 第3回文化財保護委員会(R5.3.2)
 - 文化財/パトロール
 - ・下里御大師堂保存修理事業について
 - ・下町橋補修事業について
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について
 - ・林家三重石塔について
 - ・明導寺阿弥陀堂防災設備改修工事について
- 2 文化財施設の管理委託状況
 - (1)明導寺阿弥陀堂
 - (2)下里御大師堂
 - (3)宝陀寺観音堂
 - (4)八勝寺阿弥陀堂
- 3 文化財振興補助金の交付状況
 - (1)明導寺阿弥陀堂・宝陀寺観音堂
 - (2)八勝寺阿弥陀堂
 - (3)下里御大師堂
 - (4)普門寺観音堂
 - (5)上里の町観音
 - (6)上小原五輪塔群
 - (7)東方組太鼓踊り保存会
 - (8)浅鹿野棒踊り保存会
 - (9)球磨神楽保存会
 - (10)木造弘法大師坐像修理
- 4 文化財調査
 - ・近代和風建築調査(樺木家住宅)
- 5 文化財防火デー(防災訓練)等の実施
 - ・1月、明導寺阿弥陀堂にて実施
- 6 歴史文化に関する総合学習等の開催実績
 - (1)生涯学習歴史探訪講座 2回
 - (2)小学校総合学習(文化財) 1回
 - (3)中学生による地域伝統芸能活動の伝承活動

区分		国指定	県指定	町指定	計
有形文化財	建造物	4	1	8	13
	絵画	0	0	1	1
	書跡	0	0	0	0
	典籍	0	0	0	0
	古文書	0	0	0	0
	彫刻	1	3	8	12
	工芸	0	1	5	6
	考古	0	0	0	0
	歴史資料	0	0	1	1
	無形文化財	0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	2	2
	無形民俗文化財	1	0	3	4
記念物	史跡	0	0	3	3
	名称	0	0	0	0
	天然記念物	0	0	3	3
文化的景観	0	0	0	0	
伝統的建造物群	0	0	0	0	
文化財の保存技術	0	0	0	0	
合計	6	5	34	45	

国登録有形文化財	3
合計	3



文化財パトロール(上小原五輪塔群) R5.3.2

湯前町指定文化財一覧

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
		人吉新聞	
下記のとおり		熊本日日新聞	
		その他雑誌	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 歴史的風致に関連する報道 … 人吉新聞及び熊本日日新聞等に掲載された記事数 36件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

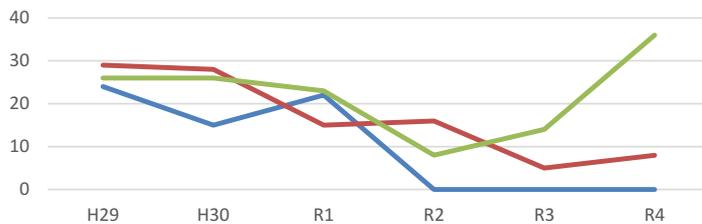
計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

今後も積極的に情報発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等

令和4年度 湯前町歴史的風致維持向上計画関係 新聞等報道一覧								
掲載・発行日	掲載紙	題目	サブタイトル・主な内容	関連する歴史的風致			日本遺産認定関連	備考
				里宮神社の祭礼行事等	相良三十三球磨焼酎観音めぐり	幸野溝と球磨焼酎		
4月16日	人吉新聞	土曜レポート 世界かんがい施設遺産「幸野溝」を次世代へ	時代重ねて進む老朽化 土改区の維持管理たゆまず			○		幸野溝
4月20日	人吉新聞	経済かわら版	軽巡洋艦「球磨」焼酎を発売中			○		林酒造場
5月8日	熊本日日新聞	釈迦生誕祝い「花フェス」	湯前町 基金を豪雨支援に				○	人吉球磨観光地域づくり協議会
5月24日	熊本日日新聞	古刹の建 梅干し発売	湯前町・下村婦人会					明導寺阿弥陀堂
5月24日	人吉新聞	下村婦人会「浄心寺梅」完成を報告	寺号と梅使い商品化					明導寺阿弥陀堂
6月22日	熊本日日新聞	十字街	里宮神社など5カ所「花手水」始まる	○				市房山神宮里宮神社、明導寺阿弥陀堂ほか
6月22日	人吉新聞	浮かぶアジサイ「花手水」彩る	湯前町 神社と寺院5カ所	○				市房山神宮里宮神社、明導寺阿弥陀堂ほか
6月30日	人吉新聞	駅舎彩る「七夕」願い事書いて	湯前町商工会女性部が設置					湯前駅
8月6日	人吉新聞	「常圧 豊永蔵」最高金賞	豊永酒造「麦汁」など3銘柄も受賞			○		豊永酒造
8月29日	人吉新聞	カラフル風車流しさを演出	レールウイング映えスポットに					湯前駅
9月8日	人吉新聞	「極楽」極楽しず葉」最高金賞	林酒造場 品質会TWSOCで評価			○		林酒造場
9月17日	熊本日日新聞	ほっとフォト カラフルな風	湯前駅レールウイングで「風車回廊」	○				湯前駅
9月19日	熊本日日新聞	湯前名所走って巡って	スポーツイベント39人観覧					明導寺阿弥陀堂ほか
9月26日	人吉新聞	地図手に歩き魅力再発見	湯前町「ロゲイニング」初開催					明導寺阿弥陀堂ほか
10月3日	人吉新聞	湯前町の魅力探訪	尚納大学生 連携事業で情報発信へ	○				市房山神宮里宮神社ほか
10月16日	熊本日日新聞	プロ酔わず絶品焼酎 米と妻の2部門 味、香りに高評価	酒蔵が選ぶコンテスト 豊永酒造(湯前町)初代「大賞」			○		豊永酒造
10月21日	人吉新聞	豊永酒造 米と妻2部門で大賞	「常圧豊永蔵」麦汁「酒蔵が選ぶ焼酎大賞」			○		豊永酒造
10月31日	人吉新聞	「地域の足」美しく応援	湯前町 住民総出でくま鼓除草					湯前駅
11月11日	人吉新聞	3つの伝統芸能を継承	湯前中 文化祭と神社大祭で披露	○				球磨神楽・東方組太鼓・浅鹿野棒踊
11月16日	人吉新聞	「風車」と「紅葉」秋の境内彩る	湯前町里宮神社 夜はライトアップ	○				市房山神宮里宮神社
11月19日	人吉新聞	湯前中生が郷土芸能奉納	里宮神社秋季大祭 神楽、棒踊り、太鼓踊り	○				球磨神楽・東方組太鼓・浅鹿野棒踊
12月27日	人吉新聞	馬場稲荷神社 冬夜に浮かぶ	住民がライトアップ					馬場稲荷神社
12月3日	人吉新聞	太鼓踊り男社に奉納	里宮神社大祭	○				市房山神宮里宮神社、東方組太鼓
12月30日	人吉新聞	彫刻千支「卯」を奉納	湯前町里宮神社 初詣に十二支そろう	○				市房山神宮里宮神社
1月11日	人吉新聞	軽巡「球磨」戦没者慰霊のラッパ響く	湯前町里宮神社 きょう撃沈から79年	○				市房山神宮里宮神社
1月16日	人吉新聞	観地協 三日月石祈禱に各種体験	都市内9寺院 24日から「三日月詣」				○	明導寺阿弥陀堂
1月19日	人吉新聞	遺構や戦跡 散策可能に	湯前城 有志たちが里道整備					湯前城跡
1月30日	熊本日日新聞	「織月石」に祈りささげ	人吉球磨で「三日月詣」				○	明導寺阿弥陀堂
2月1日	人吉新聞	「三日月商品」集め販売PR	湯前町でマルシェ				○	人吉球磨観光地域づくり協議会
2月13日	人吉新聞	JALふるさとアンバサダー 古里復古運 麗いツアー	人吉市出身恒松さん企画 くま鼓と焼酎堪能			○		球磨焼酎
2月15日	熊本日日新聞	くま川鉄道 蔵めぐりツアー	焼酎と車窓の楽しみ			○		林酒造場
2月21日	人吉新聞	途中でおやつも堪能	水上、湯前、多良木の3町村で「奥球磨めぐりん フットバス」開催					湯前町観光案内協会
3月8日	人吉新聞	湯前町 ポイント探してパチリ	「ロゲイニング」で名所巡り					下町橋、下里御大師堂ほか
11月20日	『どうぶつ』2022年12月号	ウワサの表彰グルメ	豊永酒造、第1回酒蔵が選ぶ焼酎大賞を受賞			○		豊永酒造
12月20日	『どうぶつ』2023年1月号	中原丈雄さん出演 映画『あの子の夢を水に流して』	湯前町の林酒造場もロケ地の一つ			○		林酒造場
3月5日	『くまがわ春秋』第94号	球磨の「世界かんがい施設遺産」	幸野溝・百太郎溝の紹介			○		幸野溝
36				11	0	11	4	

歴史まちづくりに関する情報発信件数等



※令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、HPアクセス数のカウントができなくなった。

評価軸⑥-1
 その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

その他(効果等)

本計画は、本町の歴史・文化的資源の継承とこれらを活用したまちづくりの基本方針として、法律第4条に規定する「歴史的風致維持向上基本方針」に基づき策定するものであり、文化財保護行政とまちづくり行政が緊密に連携し、文化財の保存と活用、都市、景観政策による各種の措置を講じることにより、行政、地域住民、地域団体、企業などが一体となって、まちづくりに取り組むことを目的とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○地域住民等の意識 …… 文化財行政や歴史まちづくりに関するアンケート調査(アンケート調査は令和2年度実施)
 ○観光入込客数等 …… 総入込客数 90,840人(R2) → 164,890人(R3) → 117,275人(R4)

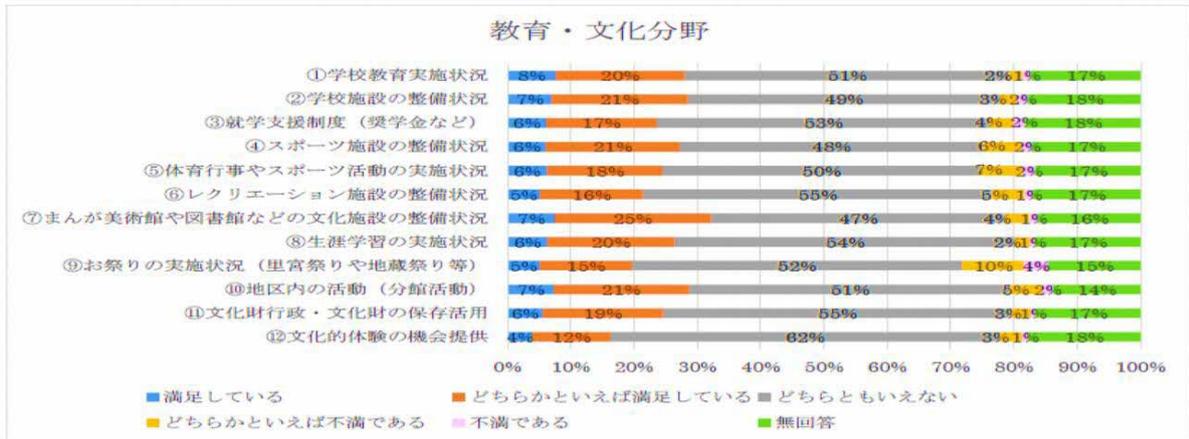
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし
 歴史的風致維持向上計画の事業の他、地域住民等による古民家の活用や、歴史的風致としていない祭礼行事、歴史ある建造物の恒常的な維持管理や修理などの取り組みがなされている。

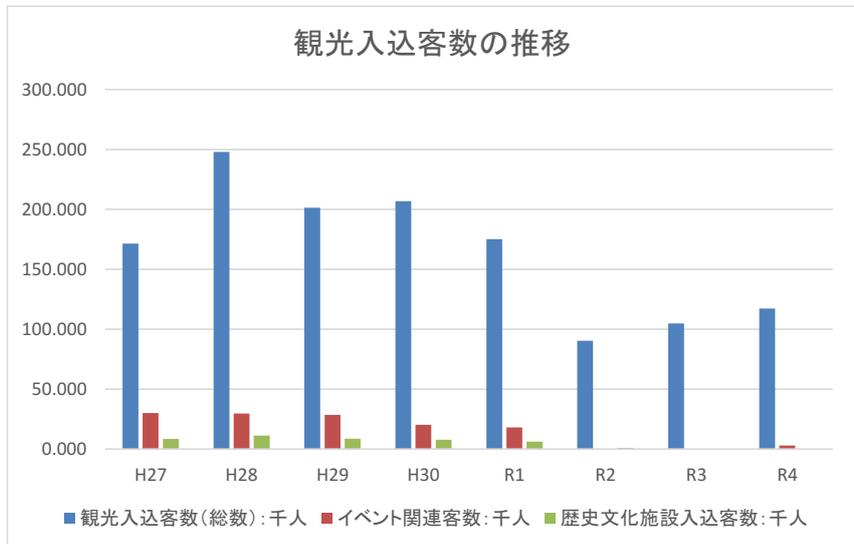
状況を示す写真や資料等

【教育・文化分野】

全体的に項目ごとの満足度の差が少なかったが、「⑦まんが美術館や図書館などの文化施設の整備状況」が32%と最も満足度が高く、「⑨お祭りの実施状況」の不満足度が14%と最も高かった。



湯前町観光入込客数の推移



評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 湯前町歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年5月12日(金)～5月26日(金) 書面審議	
(コメントの概要)	
<p>1 有識者コメント</p> <p>○(伊東委員) 全体的にうまく進んでいると思う。2頁(都市計画・景観計画)については、「歴史文化を活かしたまちづくりの推進を図っていく」という目標に対して「計画どおり進捗している」という評価でよいか。R2年度7月豪雨に対し復旧したということは、進捗としてはマイナスをゼロにしただけでも言えるように思う。</p> <p>○(桂委員) 4頁(御大師堂修繕事業)の進捗状況の評価を「計画どおり進捗していない」としているが、様々な状況から考えると、順調に進んでいると考えたほうがよい。評価方法が2択であるため仕方がないかもしれないが、コメント表現を検討してもよい。</p> <p>○(桂委員) 19頁「歴史まちづくりに関する情報発信件数等」のグラフでHPのアクセスがリニューアルのためR2から0となっているが、グラフにコメントを付記したほうがよい。</p> <p>○(溝下委員) 3頁(明導寺阿弥陀堂屋根及び九重石塔修繕事業) 境内の特に南側の樹木の剪定をお願いしたい。九重石塔の保存修理を計画していただきたい。</p> <p>○(溝下委員) 8頁(明導寺阿弥陀堂周辺整備事業) 宝陀寺観音の参道は元々の参道を大事にしてほしい。入口までの河川の整備をしてほしい。観音堂は屋根の修理が必要か。</p> <p>○(富田委員) 6頁(幸野溝周辺環境整備事業)について、幸野溝沿いにウォーキングロードを整備できないか。また世界かんがい施設遺産であることを示す案内板があるとよい。町の観光パンフレットに幸野溝・百太郎溝の世界かんがい施設遺産関係の説明がなかったので、今後お願いしたい。</p> <p>○(那須委員) 行政リーダシップにより、計画が着々と進み、街並み・建造物等が修復されていく様子がうかがわれる。伝統芸能は、地区の協力はもちろん、行政・学校・青年団の力添えがなければ成り立ちえず、現状では懸命に継承のための指導ができていたのでよい。歴史的なまちづくりが少しずつ整備されていくことを期待している。</p> <p>2 今後の対応等</p> <p>明導寺阿弥陀堂九重石塔については、令和6年度以降で保存修理を兼ねて耐震対策工事を実施する方向で検討している。あわせて屋根修理も計画している。また、今後、歴史的風致形成建造物の指定を進め、保存・整備を図るとともに、引き続き関係団体等との連携を図りながら、文化財保護と歴史まちづくりを進めていく。</p>	